

進捗報告

ROC9を用いた線源測定、BEなしのときのIBの影響

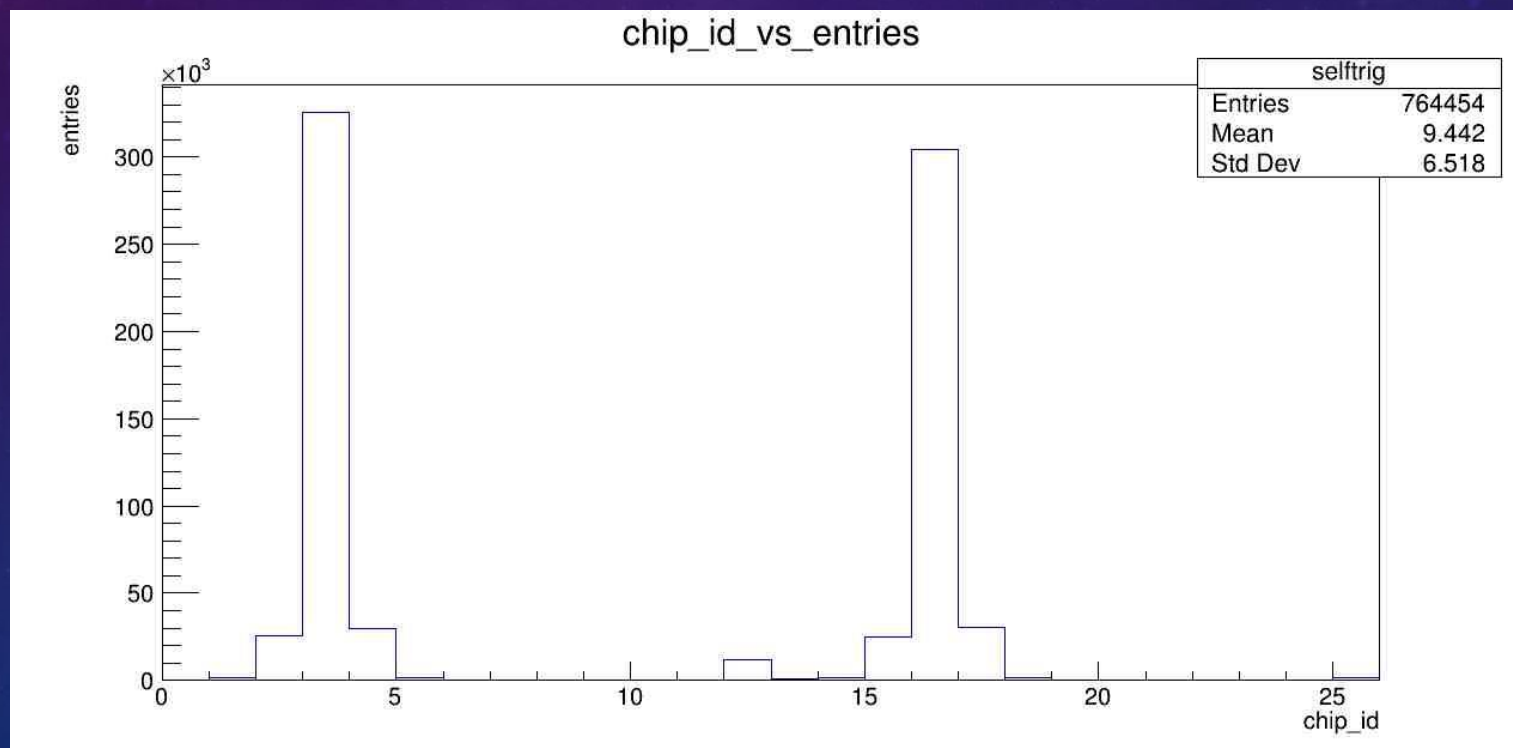
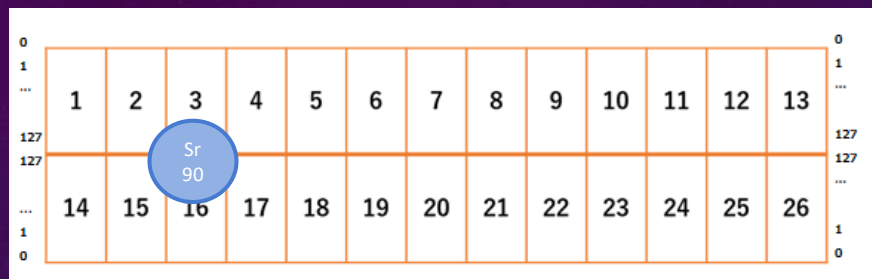
NWU 並本ゆみか

ROC9について

- Regulatorが交換され、FPHX chipが安定して動作できる電圧が供給されるようになった
- これまではキャリブレーションテストでの動作確認しかしてこなかった
→線源測定を行うとどうなるか確認した

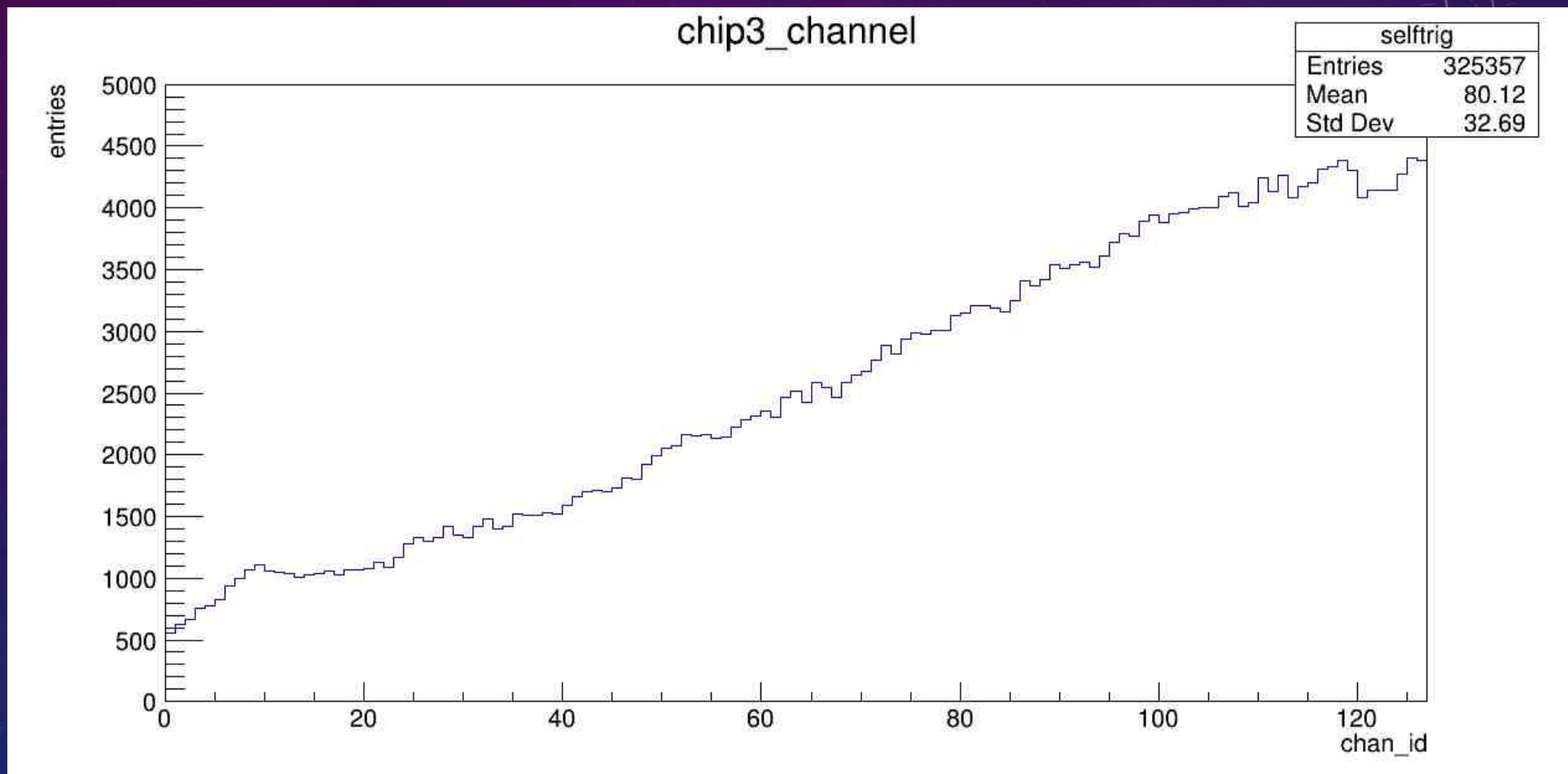
ROC9を使った線源測定:C3①

- INTT1をC3に接続して、5分間セルフリガー測定を行った



ROC9を使った線源測定:C3②

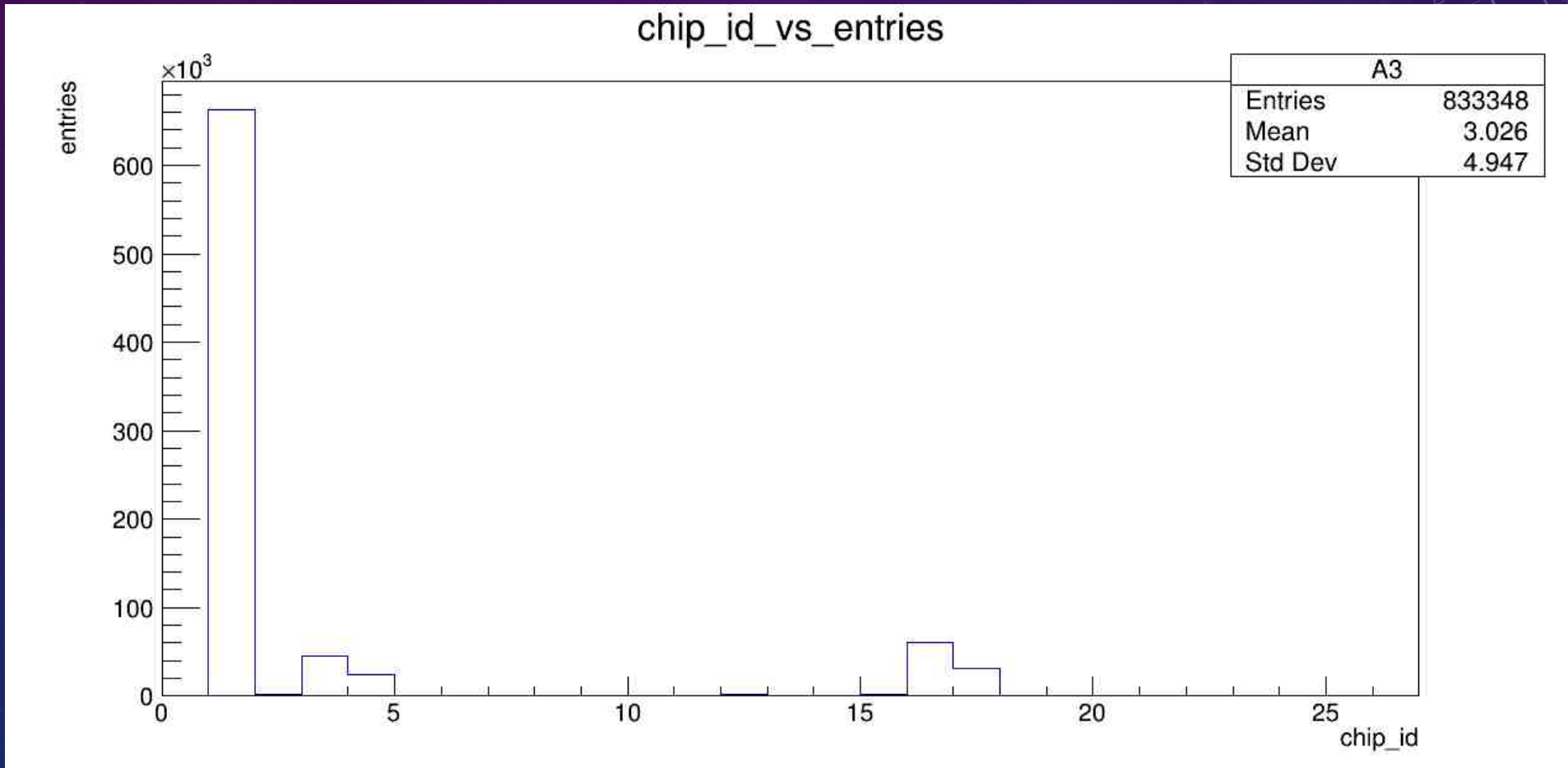
- 線源に近いchip3のchannel分布は以下ようになった



- Chan0-10が落ち込んでいるように見える

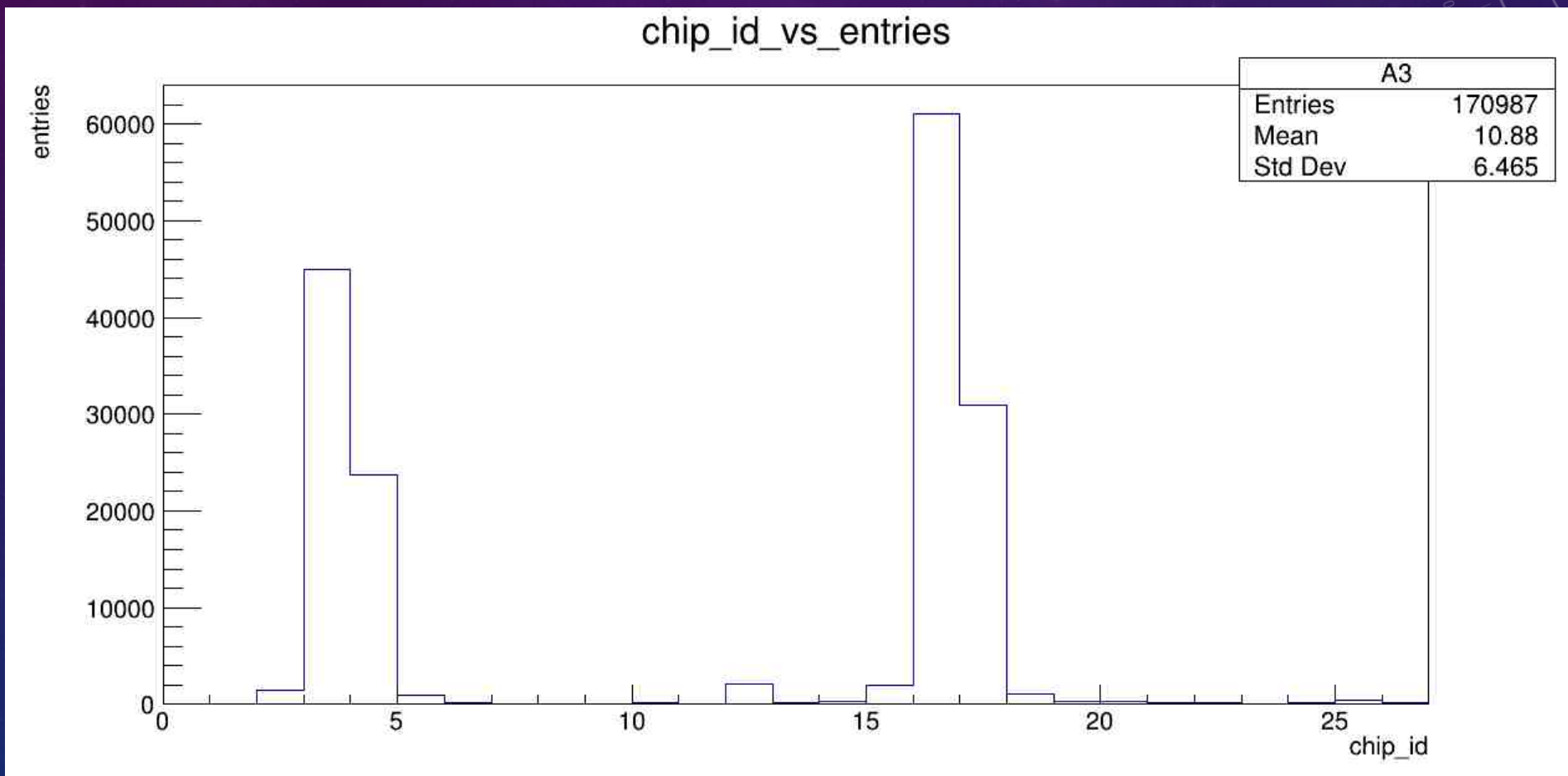
ROC9を使った線源測定:A3①

- A3ポートを使って線源測定を試してみた
- これまではどのROCでもC3でしか線源測定はできなかった
- これまで通りmodule=6、amplitude=0を指定してもchip1にノイズが多い



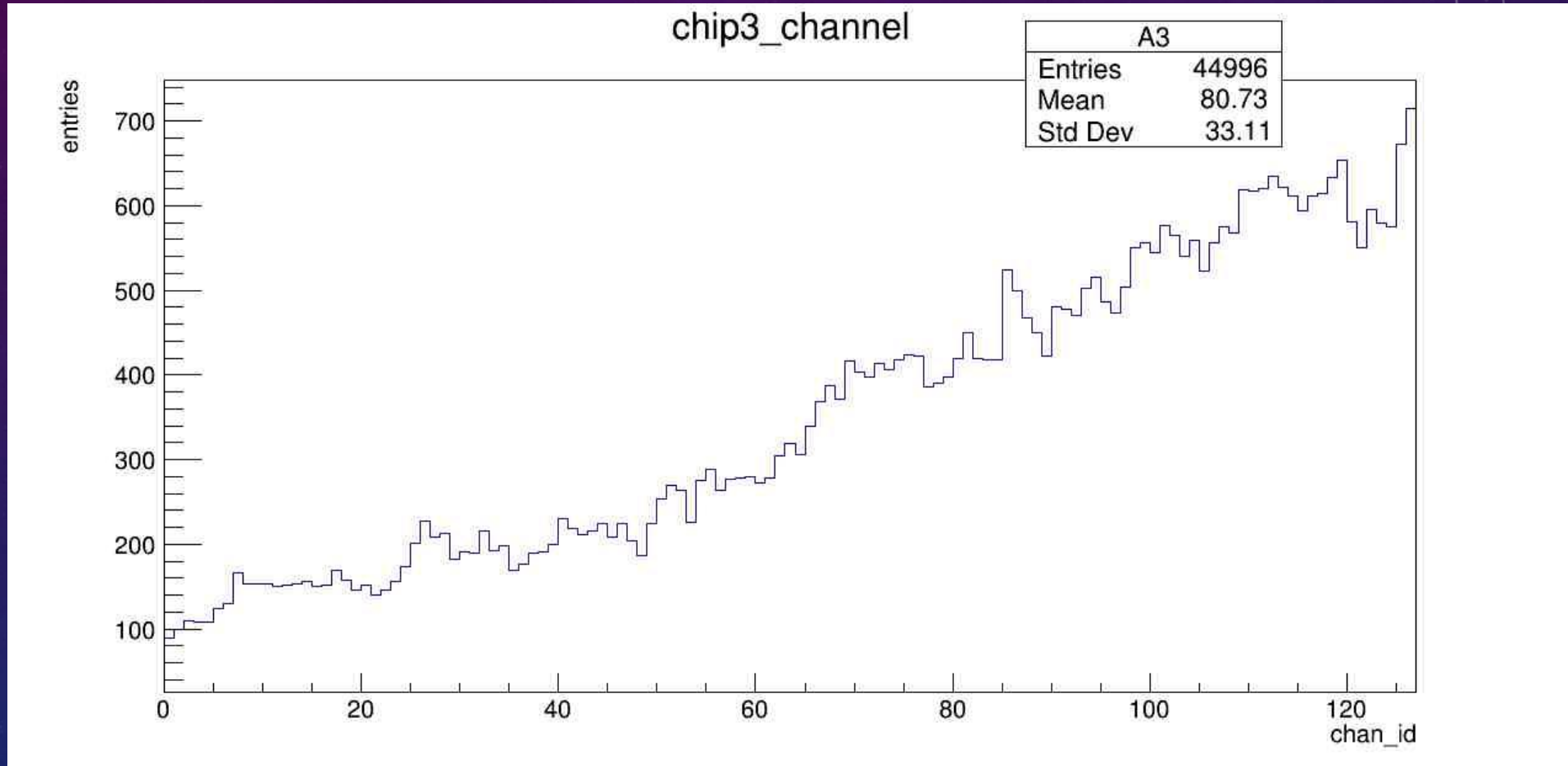
ROC9を使った線源測定:A3②

- Chip1を除くと以下のようなになる
- 線源に近いchip3,16のエントリーが多くなっている



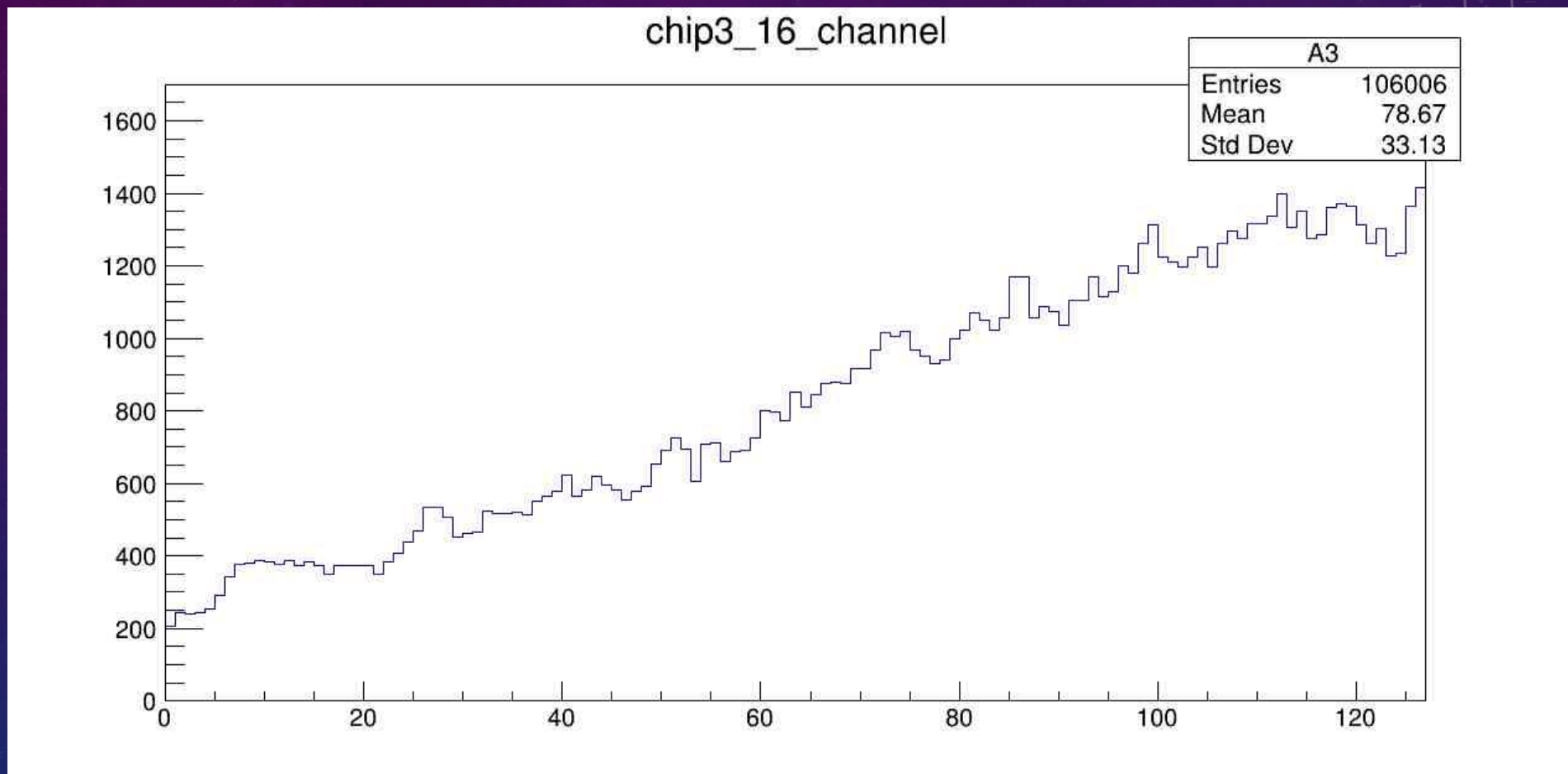
ROC9を使った線源測定:A3③

- chip3のchannel分布は以下の通り



ROC9を使った線源測定:A3④

- Chip3と16をあわせてchannel分布を見た

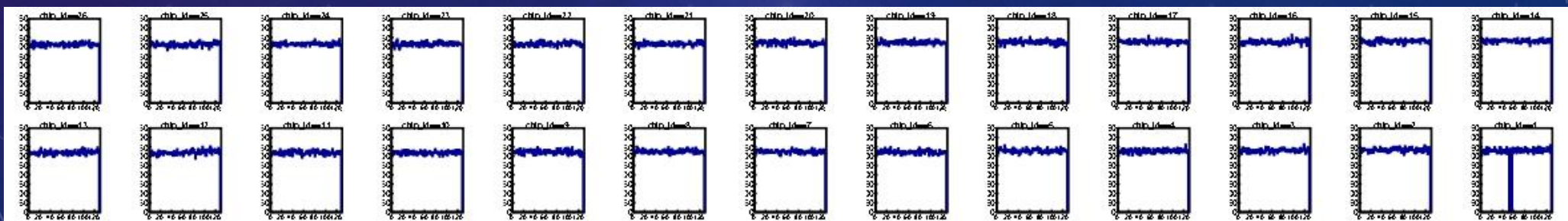
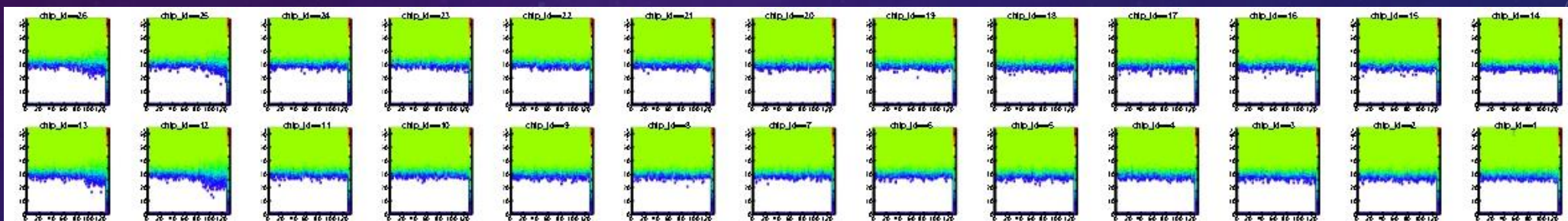
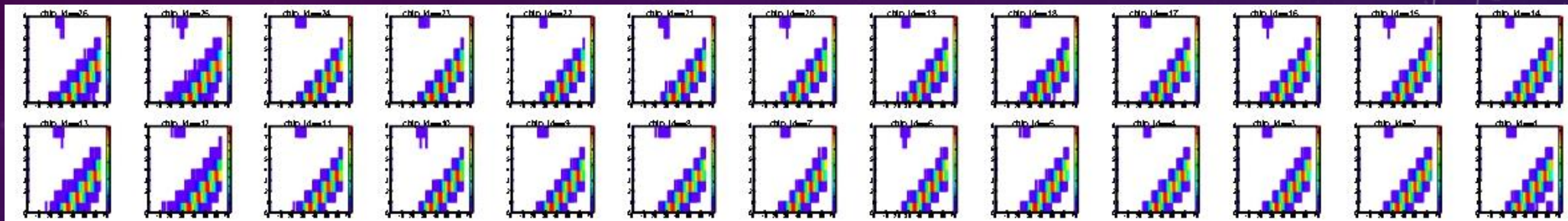


- Chan0-10が落ち込んでいるように見える

INTERCEPTION BOARDの影響について①

- Bus Extenderなし、Interception Boardあり/なしのときのキャリブレーションテストの結果について比較した

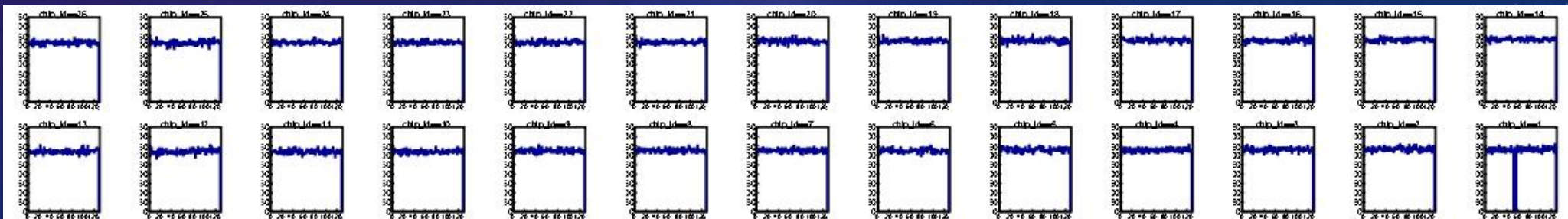
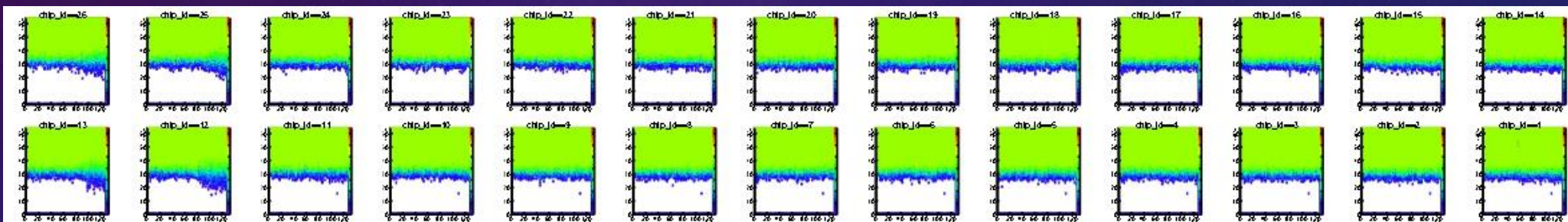
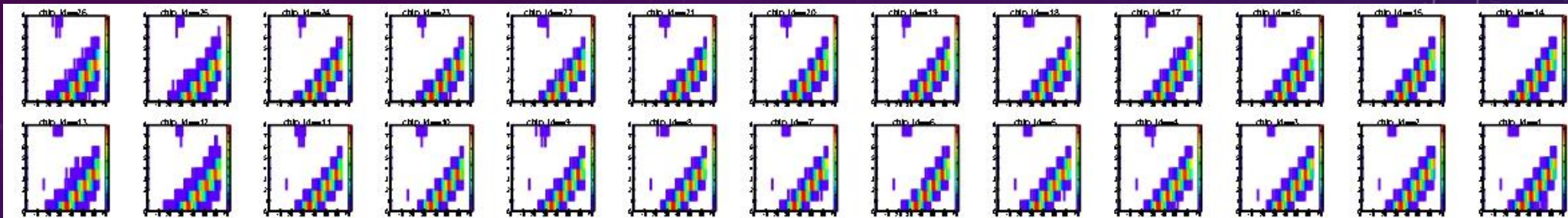
IBあり



INTERCEPTION BOARDの影響について①

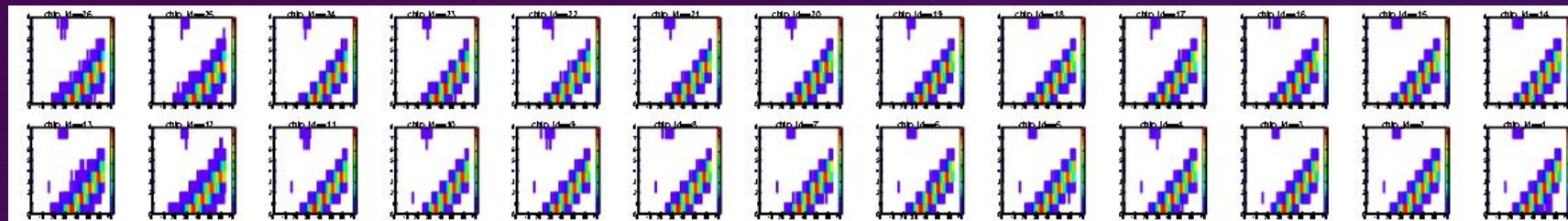
- Bus Extenderなし、Interception Boardあり/なしのときのキャリブレーションテストの結果について比較した

IBなし

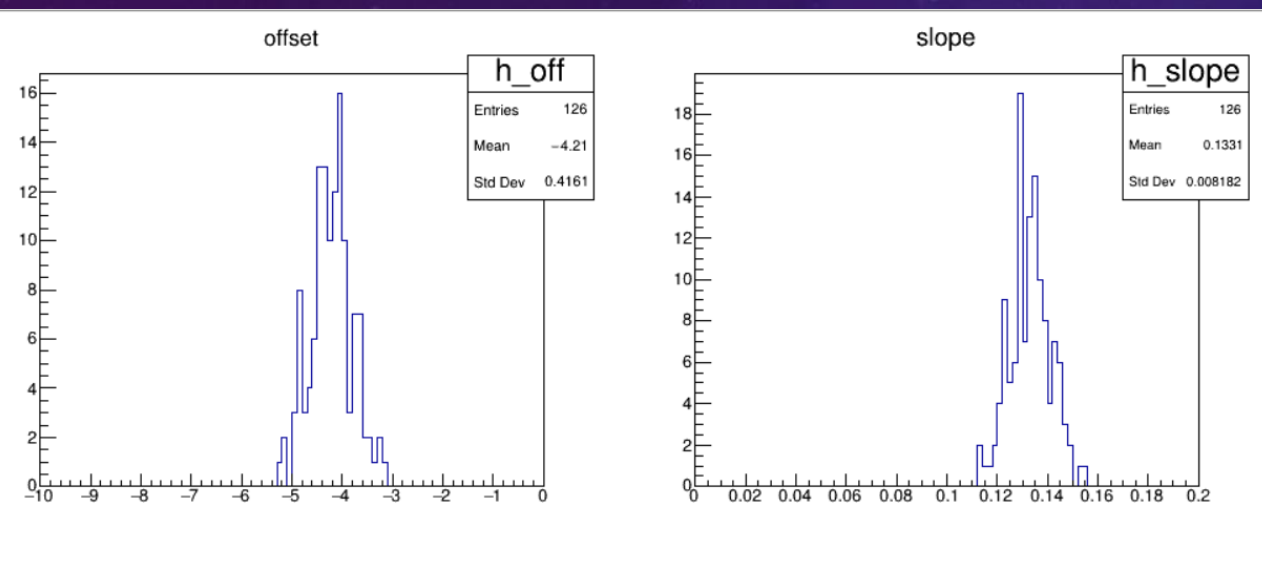


INTERCEPTION BOARDの影響について②

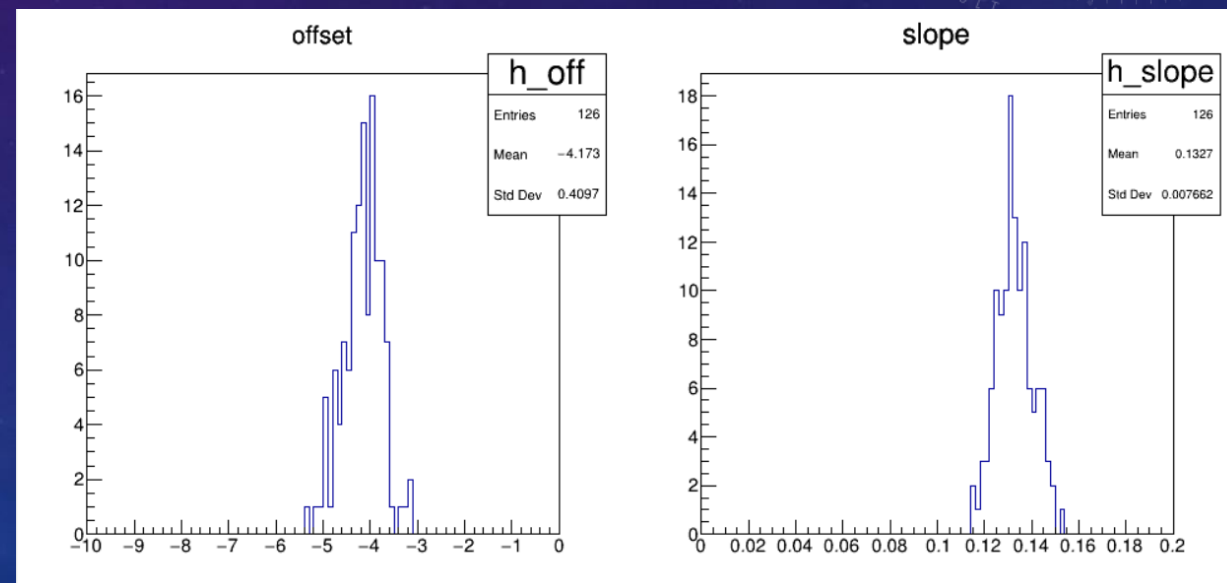
- Interception Boardあり/なしのときのキャリブレーションテストの結果について比較した



IBあり



IBなし



今後の予定

- 治具を使って、フルラダーの線源測定を行う

ROC9を使った線源測定:C3②

- ROC3を使ったときのセルフトリガー測定のchannel分布

